

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 嘉忠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 松尾 剛
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 093-513-7855

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,882	3.6	387	155.2	251	—	152	—
25年3月期第3四半期	7,611	6.5	151	△61.4	7	△97.9	△8	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 152百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	13.29	—
25年3月期第3四半期	△0.74	—

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	14,140	1,470	10.4	128.17
25年3月期	12,972	1,318	10.2	114.89

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,470百万円 25年3月期 1,318百万円

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成26年3月期(予想)の期末配当金は、当該株式分割後で記載しております。配当予想につきましては、平成25年11月28日に公表いたしました「株式分割及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,792	6.9	522	162.5	312	—	172	—	14.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮して記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,476,000 株	25年3月期	11,476,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	86 株	25年3月期	86 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	11,475,914 株	25年3月期3Q	11,475,924 株

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策により、円安・株高が進み景況感に回復の兆しが見られるものの、平成26年4月からの消費税増税による影響が懸念されるなど、依然として行先き不透明な状況が続いております。

介護サービス業界においては、急速な高齢化の進行に伴い、医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者の増加、単身・高齢夫婦のみ世帯の増加、介護人材の確保等が喫緊の課題となっております。このような中で医療、介護、生活支援サービス等を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築のため、平成24年度施行の「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」及び介護報酬の改定等で、在宅サービス・居住系サービス等の提供体制の充実に向けた取組が実施されております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、収益面では、主に昨年度、新規に開設した施設において、新規利用者の獲得と充実したサービスを提供することで、施設稼働率の向上に努めました。利益面では、効率的な施設運営と経費削減に取り組むことで利益率の改善に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は78億82百万円（前年同四半期比3.6%増）となり、営業利益は3億87百万円（同155.2%増）、経常利益は2億51百万円（同3,062.0%増）、四半期純利益は1億52百万円（前年同四半期は四半期純損失8百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①デイサービス事業

当セグメントにおきましては、一部の事業所において同業他社の参入等により、利用者数が計画を下回る状況となっておりますが、「7時間以上9時間未満」のサービス提供時間を採用し、より多くの利用者様のご要望にお応えできるようサービス内容と質の向上に努めました。また、労務費を中心としたコスト管理を徹底してまいりました。その結果、売上高は25億9百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は3億46百万円（同84.8%増）となりました。

②施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存の有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は48億9百万円（同4.4%増）、セグメント利益は4億97百万円（同30.5%増）となりました。

③在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その結果、売上高は5億63百万円（同4.9%減）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億68百万円増加して141億40百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べて10億15百万円増加し、126億69百万円となっております。また、株主資本は、前連結会計年度末に比べて1億52百万円増加して14億70百万円となりました。

この結果、自己資本比率は10.4%（前連結会計年度末は10.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	723,439	1,233,912
売掛金	1,624,032	1,714,399
有価証券	20,006	—
その他	158,898	127,065
貸倒引当金	△2,740	△2,582
流動資産合計	2,523,636	3,072,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,773,868	3,169,347
土地	1,745,801	1,745,801
リース資産(純額)	3,314,334	3,606,133
その他(純額)	300,576	168,702
有形固定資産合計	8,134,581	8,689,985
無形固定資産	137,796	120,483
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,799,777	1,854,069
その他	379,400	406,165
貸倒引当金	△3,007	△3,073
投資その他の資産合計	2,176,170	2,257,161
固定資産合計	10,448,548	11,067,630
資産合計	12,972,185	14,140,424

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,996	163,733
短期借入金	2,196,000	2,250,000
1年内返済予定の長期借入金	586,432	575,555
未払法人税等	26,150	43,000
賞与引当金	192,982	48,998
その他	712,140	796,019
流動負債合計	3,850,701	3,877,306
固定負債		
長期借入金	3,259,835	3,841,690
リース債務	3,580,555	3,958,591
退職給付引当金	273,965	295,707
長期預り保証金	235,624	232,043
その他	453,076	464,195
固定負債合計	7,803,057	8,792,227
負債合計	11,653,758	12,669,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	578,129	730,597
自己株式	△16	△16
株主資本合計	1,318,422	1,470,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	—
その他の包括利益累計額合計	3	—
純資産合計	1,318,426	1,470,891
負債純資産合計	12,972,185	14,140,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,611,345	7,882,776
売上原価	6,997,799	6,995,899
売上総利益	613,545	886,876
販売費及び一般管理費	461,899	499,851
営業利益	151,645	387,025
営業外収益		
受取利息	7,816	7,809
助成金収入	5,407	18,830
雑収入	21,666	15,052
営業外収益合計	34,889	41,692
営業外費用		
支払利息	175,819	174,118
雑損失	2,748	2,672
営業外費用合計	178,567	176,790
経常利益	7,967	251,928
税金等調整前四半期純利益	7,967	251,928
法人税、住民税及び事業税	9,189	45,163
法人税等調整額	7,226	54,296
法人税等合計	16,416	99,459
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,448	152,468
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,448	152,468

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△8,448	152,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△3
その他の包括利益合計	16	△3
四半期包括利益	△8,432	152,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,432	152,464

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高				
外部顧客への売上高	2,412,191	4,606,667	592,486	7,611,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,412,191	4,606,667	592,486	7,611,345
セグメント利益又は セグメント損失(△)	187,443	381,471	△1,646	567,268

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	567,268
全社費用(注)	△415,622
四半期連結損益計算書の営業利益	151,645

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高				
外部顧客への売上高	2,509,317	4,809,972	563,486	7,882,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,509,317	4,809,972	563,486	7,882,776
セグメント利益又は セグメント損失(△)	346,439	497,840	△5,742	838,536

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	838,536
全社費用(注)	△451,511
四半期連結損益計算書の営業利益	387,025

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△0円74銭	13円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	△8,448	152,468
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	△8,448	152,468
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,475	11,475

- (注) 1 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 平成26年1月1日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年1月1日付で、株式分割を下記のとおり実施しました。

1. 株式分割の目的

株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げ当社株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割方法

平成25年12月31日(火)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式を、普通株式1株につき2株の割合をもって分割します。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数	5,738,000株
株式分割により増加する株式数	5,738,000株
株式分割後の発行済株式数	11,476,000株

3. 株式分割の日程

株式分割基準日	平成25年12月31日
効力発生日	平成26年1月1日

なお、これによる影響については、「1株当たり情報」に記載しております。